

一条校におけるアートを核にした

国際バカロレア教育 PYP カリキュラムの構築

鈴木光男^{*,1)}、太田雅子¹⁾、二宮貴之¹⁾、モーテン・ヴァテン¹⁾

¹⁾聖隷クリストファー大学

1. 目的

国際バカロレア教育（以下 IB）の観点から一条校でのプログラム開発・カリキュラム構築上の課題やポイントを明確化する。そして、一条校におけるアートを核にした PYP（Primary Years Programme）カリキュラム構築へ向けた知見やポイントを整理する。

2. 方法

各校の年間指導計画やプログラム、結果として生まれた作品や表現などの成果物確認、学習環境観察と併せて IB プログラムコーディネーターを対象にインタビューガイドに沿った半構造化インタビュー調査を実施する。

3. 結果

①フィリピンの2校について

2024年3月12日、マリアーノ・マルコス州立大学（MMSU）を訪問し、以下のトピックについて詳細な議論を行った：

- ・MMSU の特別支援教育プログラムの充実に向けた協力 ・教員と大学生の交流プログラム
- ・MMSU 教員の IBEC プログラム研修受講について
- ・カリキュラムデザイン、評価方法、学習環境など今後の取り組みと解決策について
- ・学術交流や文化交流を通じた強固なパートナーシップの構築

さらに、MMSU の学長とは PYP および附属幼稚園の強化についての話し合いを進めた。

翌3月13日、フィリピン初の PYP 校であるビーコンスクールを訪問し、様々なクラスを観察し、校長 T 氏に対して半構造化インタビューを実施した（インタビュー日時：2024年3月13日 08:00-08:45）。副校長 J 氏、PYP コーディネーター A 教諭、R 教諭に対しても半構造化インタビューを行った（インタビュー日時：2024年3月13日 10:40-11:10 および 14:45-15:30）。PYP におけるアートの統合について重要な知見を得ることができた。

②国内1校について

本学 IBEC 教育実習校 S 校のプログラムコーディネーター（T 教諭）に対し、半構造化インタビューを実施した（インタビュー日時：2024年3月25日 19:00～19:48／方法：オンライン）。「音楽・体育はずっと専科教員けれども、図工は2024年度から専科」といった T 教諭の発言にあるとおり、S 校では IB の芸術科目として音楽や図工・体育が総合的に扱われてはならず、各教科ごとの表現・製作活動が主となっている。

4. 結論

学際的アプローチを促進するアート理解が推進されており、様々なジャンル、テキスト、フォーマット間のつながりを通じて、幼児・児童が革新的な結論に至り、より深く科目に没入することが観察できた。今後、「初等教育プログラムにおける芸術」（『PYP のつくり方：初等教育のための国際教育カリキュラムの枠組』国際バカロレア機構）をもとにした一条校での実践ポイントや課題を明確にし提案できるようにする。

倫理審査	<input checked="" type="checkbox"/> 承認番号（ 23039 ） <input type="checkbox"/> 該当しない
利益相反	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（ ）